|  |
| --- |
|  　２０１５年 ４月　No.４９　　　 　日本比較文化学会**JACC　比較文化会報****本部事務局**：〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター 藤岡克則研究室内  　　　　**会長室**：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1　高知大学人文学部奥村訓代研究室内**学会HP**：http://www.hikakubunka.jp/ |

**《第37回全国大会》**

**全国大会のご案内**

**日本比較文化学会　関東支部長　近藤 俊明**

**大会準備委員長　鈴井 宣行**

来る６月13日に、第37回日本比較文化学会全国大会が東京都八王子、創価大学キャンパスにおいて開催されます。良い季節に、緑の濃い、美しいキャンパスにおいて、会員の皆様をお迎えできることは、関東支部の大きな喜びです。

今年度のシンポジウムでは、「比較文化研究と倫理」というタイトルで、比較文化学における研究倫理について話し合います。台湾と韓国の協定学会も参加され、広い視野で、比較文化学における倫理を考察する良い機会になるものと期待されます。また、比較文化学における倫理を考えるためには、まず、文化とは何かという本質的な考察が要請されるように思われます。そうであれば、今後の比較文化学のあり方に示唆となる、深い議論が交わされることと楽しみでもあります。

講演の講師には、会場校の副学長、寺西宏友先生(予定)をお招きしてあります。また、本年度も、会員の方々の様々な領域の研究発表が、多数予定されております。そして、もちろん懇親会もあります。

日本比較文化学会伝統の、サロン的で自由な雰囲気の中で、幅広い領域の興味深い研究に接することができるのは、本学会員の特権であると思います。本年度も会員の皆様におかれましては、この特権をぜひ行使していただき、良い時間をお過ごしいただければ幸いです。

大会当日お目にかかれますことを、関東支部一同、心よりお待ち申してしております。

**《日本比較文化学会第37回大会日程》**

**日本比較文化学会　関東支部長　近藤 俊明**

**大会準備委員長　鈴井 宣行**

**1.　日程**

　　日時：2015年６月13日（土）

　　会場：創価大学中央教育棟４階（受付）、５階（研究発表）

　　スケジュール：

9：00 受付開始　 中央教育棟１階ロビー

 　 9：00～9：30　　　理事会　　 　　AW554教室

　　 9：30～10：15　 総会 　 　　　 AW404教室

 10：20～12：20　 シンポジウム AW404教室

テーマ：「比較文化研究と倫理」

 12：20～13：30　　昼　食　　 食堂「ニュー･ロワール」

 13：30～17：00 　 研究発表　　　　５階　７会場

 17：10～18：10 特別講演 AW404教室

　 18：30～20：00 懇親会　　 　　レストラン「ニュー・プリンス」

＊研究発表募集スケジュール

　　発表要旨提出締切日（延長後）　2015年３月31日（火）　（終了）

**《支部報告》**

**東北支部**

＊[報告]　東北・関東支部合同大会

日時：2015年３月７日（土）15:00～

場所：弘前学院大学

プログラム

研究発表

(1) 春 花（東北大学大学院 専門研究員）「モンゴルと日本のことわざに対する認識についての調査」

(2) 高橋 栄作（高崎経済大学 准教授）「母語獲得時の養育者発話の影響」

研究発表後、総会が開かれ、会計報告及び監査報告がなされました。終了後、懇親会が開催さ

れました。

支部長　佐藤　和博

**関東支部**

＊[報告]　 東北・関東支部合同大会

日時：2014年９月13日（土）

場所：高崎経済大学

プログラム

研究発表

 (1) 西村　純（無所属•詩人、語彙研究家）「ch音の日本語、古語と方言に見られる意味志向的傾向」

 (2) 長谷川 詩織（愛知教育大学 研究員）「越境するHomemaker―ニューヨーク、アフリカ、1920年代―」

(3) 真家 英俊（東京未来大学 助教）「小学生における静的バランス機能のカンボジアと日本

の比較―小学校３、４年生における閉眼片足立ちの記録から―」

(4) 森崎 巧一（湘北短期大学 専任講師）& 共同発表者（非会員）「ICTを活用した印象評価をサポートするツールの開発」

(5) 吉田 亜矢（高崎健康福祉大学大学院）「母親の精神的健康と幼児の社会的スキルの発達と

の関連」

(6) 横地 徳広（弘前大学 講師）「差異の共同体と私の唯一性―アレント政治哲学の言論概念を手がかりに―」

(7) 木鎌 耕一郎（八戸学院大学 教授）「津軽為信と高山右近」

＊[報告] 関西・中部・関東支部合同大会

日時：2014年12月６日（土）

会場：東京未来大学

プログラム

研究発表

1.セッションA

(1) 川口 雅也（浜松学院大学 准教授）「テレビ・ドラマの研究と学術的伝統―*Star Trek*の場合―」

(2) 張 婷婷（宇都宮大学大学院）「1920年代の中国における俳句の翻訳とその影響」

(3) 髙橋 強（東海大学 准教授）「基礎英語シラバスについての一考察」

(4) 劉 益帆（同志社大学大学院）「日常談話とヴァーチャルにおける役割語としての幼児語―成人女性の幼児キャラクタに着目して―」

(5) 橋尾 晋平（同志社大学大学院）「アカデミック・ディベートのライティング養成効果に関する一考察 (2)―Model Debate Corpusによる語彙に関する研究―」

(6) 鈴井 宣行（創価大学 教授）「セネガル・ダカールにおける庶民の価値観とその感覚変容―タクシー運転手からの聞き取り調査を通して―」

(7) キャンディー（同志社大学大学院）「依頼場面における断り表現―『親しさ』に着目した日尼対照研究―」

(8) 野口 司（東京大学 学術支援専門員）「建築という名の『芸術』についての試論―存在の一時逗留の場としての建築について―」

2. セッションB

(9) ぺトラ・カルロヴァー（早稲田大学大学院）「1940～1945年の日本民族学における汎アジア主義の影響―松本信広の著書に関する一考察―」

(10) 横地 徳広（弘前大学 講師）「門脇俊介の現象学的行為論―ハイデガー解釈の越境的拡充について―」

(11) 蘇 文文（同志社大学大学院）「日中若者ことばの表現構造の諸相―構成・品詞・造語法をめぐって―」

(12) 澤田 敬人（静岡県立大学 准教授）「オーストラリアにおける行方不明の子ども―ボーモント家事件以降の事例から―」

(13) 劉 爽（同志社大学大学院）「共感的ダイクシスをめぐって―中英対照研究の観点から―」

(14) 西村 純（詩人）「ボブ・ディランの歌詞から読み取れる20世紀から今日迄」

(15) 李 興雅（同志社大学大学院）「日常談話における日・中モダリティの関与表現についての一考察」

(16) 鈴木 光男（東京未来大学 教授）「変化著しいカンボジアにおける美術教育の価値と可能性 ―JHPとの美術教育普及プロジェクトの成果をもとに―」

＊[報告] 3月例会・総会

日時：2015年３月14日（土）

会場：東京未来大学

プログラム

(1) 田中 真奈美（東京未来大学 准教授）、金塚 基（東京未来大学 准講師）「保育・教育専攻の学生における海外ボランティア・プログラムの意義」

(2) 三井 真紀（九州ルーテル学院大学 講師）「フィンランドにおける多文化保育と家族支援の研究」

(3) 森崎 巧一（湘北短期大学 講師）、大海 悠太（東京工芸大学 助教）、関根 雅人（慶應義塾大学SFC研究所）、小楠 竜也（早稲田大学大学院）、他1名「デザイン教育における印象評価サポートツール活用事例の報告」

(4) 小林 竜一（早稲田大学国際言語文化研究所）「暁烏敏とアメリカ」

＊[お知らせ] 2015年度は、６月の全国大会の他、９月に東北支部との合同例会、３月に総会・例会を開催する予定です。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　支部長　近藤　俊明

**中部支部**

＊[報告]　 2014年度総会・第７回支部大会

　　　日時：2015年２月15日（日）13：00～16：45

　　　場所：常葉大学大学院サテライトキャンパス61教室

大会テーマ：グローバリゼーションと比較文化

プログラム

第1部

１．自由研究発表

　(1) 塚本 美穂（京都外国語大学大学院）「日本の墓文化における変化」

　(2) 鈴井 宣行（創価大学 教授）「セネガルの教育改革―『ダーラ』の改革を通して―」

２．総会（議長：白鳥絢也）

　　　1. 報告事項：①新入会員、②役員人事、③中部支部ニュースレター発行、

④関西・中部・関東合同例会、⑤第６回支部大会、⑥支部役員会開催

　　　2. 審議事項：①2015（平成27）年度事業計画（名古屋開催計画、大会プラス例会）を承認、②中部支部内規（案）（大会参加費に関する内規）を承認、③自由研究発表申込み様式および大会予稿集・論文集（仮称）の発行について承認

第2部

討論会（円卓会議）テーマ：グローバリゼーションと比較文化

　　　　　コーディネーター：安藤雅之（常葉大学）

　　　　　パネリスト：

　　　　　白鳥絢也（星槎大学）「グローバリゼーションと学校教育」

　　　　　川口雅也（浜松学院大学）「英語は地球語か」

　　　　　澤田敬人（静岡県立大学）「グローバリゼーションと人の健康」

＊[報告] 年に2度の支部大会開催を、平成27年度から支部大会１回、例会１回に改めます。例会では、予め設定したテーマによる研究会を基盤にした形を考えています。新年度の支部大会、例会ともに発表者を募集しますので、奮ってご応募願います。

支部長　澤田　敬人

**関西支部**

＊[報告]　2014年度12月例会

　　　日時：2014年12月13日（土）14:00～17:00

　　　場所：同志社大学今出川キャンパス 神学館地下１番教室

プログラム

１．研究発表

(1) 橋尾 晋平（同志社大学大学院）「アカデミック・ディベートで扱われる語彙数・語彙レベルについて―資格取得試験で扱われる語彙との比較から―」

(2) 日高 明（相愛大学 非常勤講師）「仏教福祉における人権概念の基礎（はあり得るか？）」

２．講演

中川久公先生（京都ゑびす神社 宮司・同志社大学 嘱託講師）

「雅楽に見る坐り方―『正座』は正しい座り方か？―」

＊[報告]　関西支部会員資格の確認について（2014年12月13日施行）

会員の会費滞納による会員資格の喪失と再入会、休会について確認が行われ、関西支部会

則施行細則にて施行されることになりました。詳しくは学会HPをご覧ください。

＊[報告]　2014年度３月例会

　　　日時：2015年３月７日（土）15:00～17:00

　　　場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館408番教室

プログラム

１．研究発表

(1) アブラギモヴィチ・ユーリャ（京都大学大学院）「日本語複合動詞とロシア語接頭辞vy-/za-/ot- 付加動詞の対照言語学的分析の試み」

２．講演

寺西雅之先生（兵庫県立大学 准教授）

「ことばから見える日本文化:文体・コミュニケーションの視点から」

支部長　山内　信幸

**中国四国支部**

＊[報告]　中国四国支部研究会

　　　日時：2015年３月７日（土）　13:00~18:00

場所：愛媛大学　城北キャンパス　教育学部4号館4階　マルチゾーン型教室

プログラム

１．開会の辞　　藤岡 克則（中国四国支部長）

２．研究発表

司会：奥村 訓代（高知大学 教授）

(1) 片山 信吾（愛媛大学 学部生）「現在からさかのぼる英語教育の変遷」

(2) 横山 沙織（高知大学大学院）「高知における日本語支援を必要とする児童・生徒のために」

３．研究発表：テーマ「グローバル人材育成を目的とした言語教育改革」

司会：藤岡 克則（愛媛大学 教授）

(3)秋山 英治（愛媛大学 准教授）、藤岡 克則（愛媛大学 教授）「日本人学生における日本語力と英語力の相関関係をめぐって」

(4) 藤岡 克則（愛媛大学 教授）、田中 寿郎（愛媛大学 教授）「共通教育英語に接続する工学英語教育プログラムの開発と実践」

４．講演

　　　　講演者紹介：弓削 俊洋（愛媛大学 教授・愛媛大学ミュージアム 館長）

　　　　講演者：徳田 明仁（愛媛大学ミュージアム 講師）

　　　　演題：「展示デザインからみえる日本社会」

５．閉会の辞　　奥村 訓代（日本比較文化学会 会長）

６．支部役員会

支部長　藤岡　克則

**九州支部**

＊[報告]　2014年度九州・中国四国・関西３支部会

日時：2014年11月８日（土）

場所：福岡医療短期大学

プログラム

１．開会行事

２．研究発表

（第１室）司会：藤山 和久（熊本高等専門学校 講師）

(1) 中村 友紀（関東学院大学 准教授）「古典の材源との相違にみるイングランド復讐劇における個人の概念」

(2) 三成 清香（宇都宮大学大学院）「ラフカディオ・ハーンが描いた『孝』―再話作品に見る女性たち―」

(3) 坂元 敦子(滋賀県立大学 特任准教授)「テネシー・ウィリアムズと家族の肖像―初期の作品を中心に―」

（第2室）司会：高瀬 文広（福岡医療短期大学 教授）

(4) 高瀬 博（福岡県立須恵高校 教諭）「『英語の楽しさ・英語がわかる喜び』を体感させよう」

(5) 岩松 文代（北九州市立大学 准教授）「原材料の供給地とパッケージ様式がもたらす食品の多文化性―日本とアメリカにおける水煮たけのこを事例として―」

(6) 藤山 和久（熊本高等専門学校 講師）「『闇の奥』と『地獄の黙示録』における人物描写の比較」

（第3室）司会：八尋 春海（西南女学院大学 教授）

(7) 何 美娜（広島大学大学院）「子規漢詩と陶淵明との関わり」

(8) 林 裕二（西南女学院大学 教授）「万葉集の英語訳(1940)についての考察」

(9) 崔 銀景（関西学院大学大学院）「外国語教育における教師のコードスイッチング―日本の韓国語初級クラスを中心に―」

（第4室）司会：林 裕二（西南女学院大学 教授）

(10) 趙 科（九州大学大学院）「『分身』の改作について―作品の中の『私』を中心に―」

(11) 八尋 春海（西南女学院大学 教授）「阿蘇地域における外国人観光客の誘致について」

３．閉会行事

支部長　八尋　春海

**《事務局からのお知らせ》**

　**事務局長　藤岡　克則**

**○全国大会予稿集『比較文化論』の電子版化、及び、発行・送付の取り扱いについて**

全国大会の予稿集に関わる申し合わせの変更が、理事会にて審議・承認されましたので、ここにご報告致します。変更点は以下の通りです。

１．電子版化

2015年度全国大会より、予稿集『比較文化論』の電子版化を行う。従来の予稿集に相当するものを大会1カ月前には、本学会HPに掲載する。（単なるプログラムではなく、予稿集全体を掲載する。）

２．送付のとりやめ

上記電子版化にともない、原則として予稿集を全員に送付しない。このことにより、送料ならびに印刷費高騰に対応できると同時に、運営費を会場費や内容充実のための諸経費として活用できる。

３．印刷部数

予稿集の印刷については、大会当日参加者用として、200部を印刷・準備する。

４．事前発送

予稿集の事前発送については、印刷完了後、会長・副会長・理事（事務局長および各支部長含む）宛に各1部を送付する。

　この変更は、発表応募締切の延長や、会員のより一層の参加と研究の充実を図ることを目的として行うものです。ご理解のほど宜しくお願い致します。

**○会費納入に関するお願い**

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。２年以上未納（学生会員については１年以上）の場合には会員資格を失うことになりますのでご注意ください。

　会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。

02570-6-8921　加入者名：日本比較文化学会

　なお本口座番号は**支部会費の納入には使用できません**のでご注意ください。支部会費の振込先は支部ごとに異なります。各支部までお問い合わせください。

会費に関するお問い合わせがありましたら、学会ウェブサイト（http://hikakubunka.jp）の「お問い合わせ」ページより事務局会計担当までご連絡ください。会費に関するその他詳細につきましては学会ウェブサイトをご覧ください。

**《編集後記》**

　この写真は、11月の福岡での３支部合同例会・懇親会のときのものです。酒盛り風景は支部報告のページには相応しくないため、巻末掲載です。このときの酒席で聞こえてきた話題は、もちろん他愛のない話もありましたが、多くは当日の発表内容についてのざっくばらんな議論、研究テーマの今後の展開をどうすべきか、アカデミズム就職について、どこで博士号を取得すべきか、といったものでした。やはり研究会のアフターは、情報交換の機会、いろいろな研究者と知り合う機会、研究やキャリアの今後の発展につながる機会です。大会や研究会の集まりが、皆さまに思いがけない飛躍をもたらすものとなりますように。